Ⅶ. 実証試験結果報告書の作成

実証試験の結果は、実証試験結果報告書としてとりまとめる。

実証試験結果報告書のドラフトは、実証機関、実証試験機関、実証申請者等によってレビューする。最終の実証試験結果報告書は、技術実証委員会での検討後、実証機関に提出する。

実証試験結果報告書には以下の内容を含むこととする。また、実証試験結果報告書の要約版も作成する。

- 概要
- 背景と目的
- 山岳トイレし尿処理技術の特性と説明
- 実証試験のプロセス
- 実証技術製造者（組織名、代表社名、担当者名、所在、連絡先等）
- 実証試験技術概要
- 試験場所、試験期間等
- 実証試験の条件設定と配置
- 実証試験体制（維持管理体制を含む）
- 実証試験方法
- 各実証項目の内容と採取方法、試料採取条件、測定結果
- 試験条件の日常的記録
- 試料分析手法
- 試料分析結果と考察
- 実証試験結果と検討
- 参考文献等
- 付録（実証試験計画、実証申請者の提供する資料、試料管理・分析手法、監視・メンテナンス記録等）

資料1. 山岳トイレし尿処理技術実証申請書

１．申請者

企業名	印
住所	〒
連絡先	TEL　　FAX
E-mail	
担当者名	
所属	

２．申請装置概要

項目	記入欄
装置名称	
し尿処理方式	①生物処理　②化学処理　③土壌処理 ④乾燥・焼却処理　⑤コンポスト処理　⑥その他（　　）
型番	
製造企業名	
連絡先	担当者：
	TEL　　FAX
	E-mail：
価格（円）	
設置条件	水　：（①十分な量が必要・②初期水のみで可（　　t）・③不要　） ※補充水量（　　t／月）
	電気：（　①必要（　　kWh/d）・②不要　）
	道路：（　①必要　・　②不要　）
使用燃料	燃料の種類（　　）、消費量（　　ﾘｯﾄﾙ・kg・Nm³／月）
使用資材	資材の種類（　　）、消費量（　　ﾘｯﾄﾙ・kg・Nm³／月）
温度	適正稼動が可能な気温（　　℃）
装置タイプ	トイレと処理装置が（　①一体型　・　②隣接型　）

サイズ	一体型の場合：w	mm× d	mm× h	mm
	隣設型の場合：w （処理装置のみ）	mm× d	mm× h	mm
重量	一体型の場合：　　t 隣設型の場合：　　t （処理装置のみ）			
処理能力	平常時　　人回／日（　　ﾘｯﾄﾙ／日） 利用集中時　　人回／日（　　ﾘｯﾄﾙ／日） ※し尿原単位を（　　ﾘｯﾄﾙ／回と想定して算定）			
最終処分方法				
保証期間	年			
償却期間	年			
ランニング コスト	円／月			
納入実績	ヶ所			
その他 （特記事項）				

※本申請書に添付する書類

- 構造・機能説明書
- 設計基準
- 標準設計図
- 設置実績資料
- 自社による試験結果（試験の詳細な条件を含む）
- 日常管理者への取扱説明書
- 施工要領書
- 専門管理者への維持管理要領書
- 設置条件
- 実証試験地に関する資料
- 会社概要
- その他、必要な資料

資料2. 実証試験計画

実証試験計画の作成にあたっては、技術実証委員会の検討・助言を得て、実証申請者と十分協議することが必要である。実証試験計画の内容は、試験場所や対象技術によって異なる部分もあるが、最低限、以下の内容について作成しなければならない。

１．表紙、実証試験参加者の承認、目次

２．実証試験の概要と目的

３．実証試験参加組織と実証試験参加者の役割分担、実施体制と責任分掌

４．実証試験の対象となる山岳トイレし尿処理技術の概要

- 当該技術の一般的特徴と技術概要
- 従来技術との違い（処理性能、周辺環境影響等、メリット・デメリット）
- 構造・機能説明書
- 設計基準
- 標準設計図
- 設置実績資料
- 自社による試験結果
- 日常管理者への取扱説明書
- 施工要領書
- 専門管理者への維持管理要領書
- 設置条件
- 実証試験地に関する資料
- 会社概要
- その他、必要な資料

実証申請者は、装置の全ての構成部分の読みやすい位置に、データプレートを添付しなければならない。データプレートには以下が示されなければならない。

- 装置名称
- モデル・製造番号等
- 実証申請者の社名と住所・担当者名、緊急連絡先
- 電源電圧、相数、電流、周波数
- 搬送・取り扱い時の注意事項
- 認識しやすく、読みやすい注意書きまたは警告文
- 処理能力等

５．実証試験の方法

（１） 処理性能・周辺環境影響実証の方法

- 実証項目
- 試料採取者
- 試料採取頻度、体制
- 試料採取手法
- 試料採取装置
- 試料の保存方法
- 分析の種類
- 分析を実施する体制・場所の詳細
- 分析手法・装置
- 分析スケジュール
- 文書化方法

（２） 運営・維持管理の実証の方法

- 日常的維持管理・専門的維持管理
  - 担当者・組織
  - 維持管理スケジュール・時間・人数・体制
  - 作業内容
  - 調査項目
  - 記録様式

６．添付資料

実証試験計画には、次の資料を添付すること。

- 専門管理者への維持管理要領書
- 日常管理者への取扱説明書
- 衛生・安全管理計画
- 参考となるその他の文書やデータ等

資料3. 平成15年環境技術実証モデル事業検討会

山岳トイレし尿処理技術ワーキンググループ　検討員名簿

柏原　一正	(有)鹿島槍観光開発（冷池山荘、種池山荘、新越乗越山荘）
桜井　敏郎	三井鉱山(株)環境事業本部技術顧問
鈴木　富雄	長野県衛生公害研究所主任研究員
船水　尚行	北海道大学大学院工学研究科助教授
森　　武昭	神奈川工科大学電気電子工学科教授
吉田　孝男	ＮＰＯ環境資源保全研究会代表
渡辺　孝雄	(財)日本環境整備教育センター調査研究部統括研究員

（50音順、敬称略）

［事務局（環境省）］

塚腰　光男	自然環境局自然環境整備課課長
櫻井　洋一	自然環境局自然環境整備課課長補佐
石垣　泰夫	自然環境局自然環境整備課技術専門官
木野　修宏	総合環境政策局環境研究技術室調整専門官
新屋　孝文	廃棄物･リサイクル対策部廃棄物対策課浄化槽推進室指導普及係長

［事務局（株式会社地域交流センター企画）］

上　　幸雄	トイレ調査計画部　部長（取締役）
原田　雄美	トイレ調査計画部　次長
加藤　　篤	トイレ調査計画部　主任研究員